

## モンゴルへの事業進出コンサルタント

### 発電事業

#### 1・モンゴルにおける電力需給の現状と将来

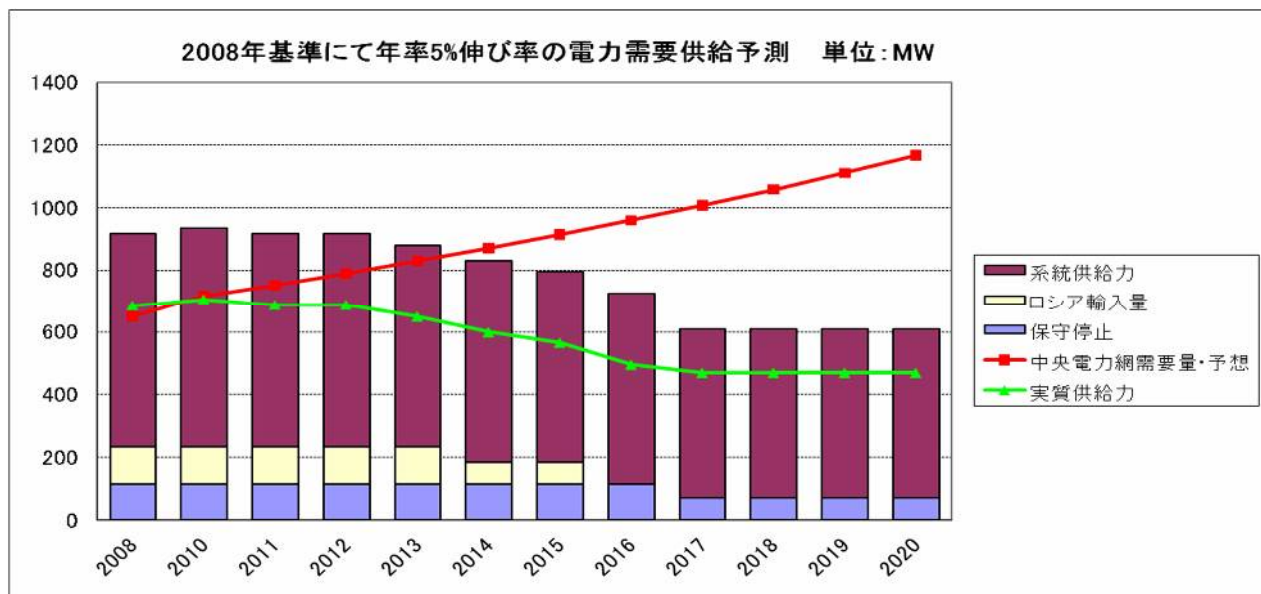
モンゴルの電力供給設備は 1991 年以前の旧ソ連製の石炭火力発電所が主力で実質総供給能力 806MW ですが、設備老朽化が進み、最大の第 4 火力発電所(全電力の 70% を供給)のリハビリテーションを日本の JICA が ODA で協力し供給力を維持してきました。しかし近年の資源開発の進捗により経済は急激な成長(2011 年経済成長率 17.3%) でピーク電力は 790MW に上昇、緊急時はロシアからの輸入電力で対応しています。

資源開発・生産の電力需要は 2013 年以降は 300MW～450MW と予定され資源開発各社は自前の発電所建設を進めています。またビジネスの活発化、生活レベルの向上による家電機器の普及も合わせますと電力需要はさらに大きく増加する傾向にあります。現状の供給能力では確実に不足すると自明であり、政府は新規火力の計画を進めていますが検討に時間がかかり遅れ気味ですが総選挙後は計画の進捗に拍車がかかることも予想されます。

経済成長率が 10%以上続きますと電力需要は 5%から 7%の上昇が考えられ 2015 年には 1000～1200MW、2020 年には 1300～1500MW の需要が予想されます。

このように急増する需要に対応するために新規発電所の建設が急務と認識しておりますので、当社は関連企業と共に環境に優しく、効率の良い発電所を政府、モンゴル企業に提案しております。

#### 2. 電力需給予想



注) 本表の実質供給力算定のにメンテナンス停止も供給力減としております。

### 3. 発電所計画案



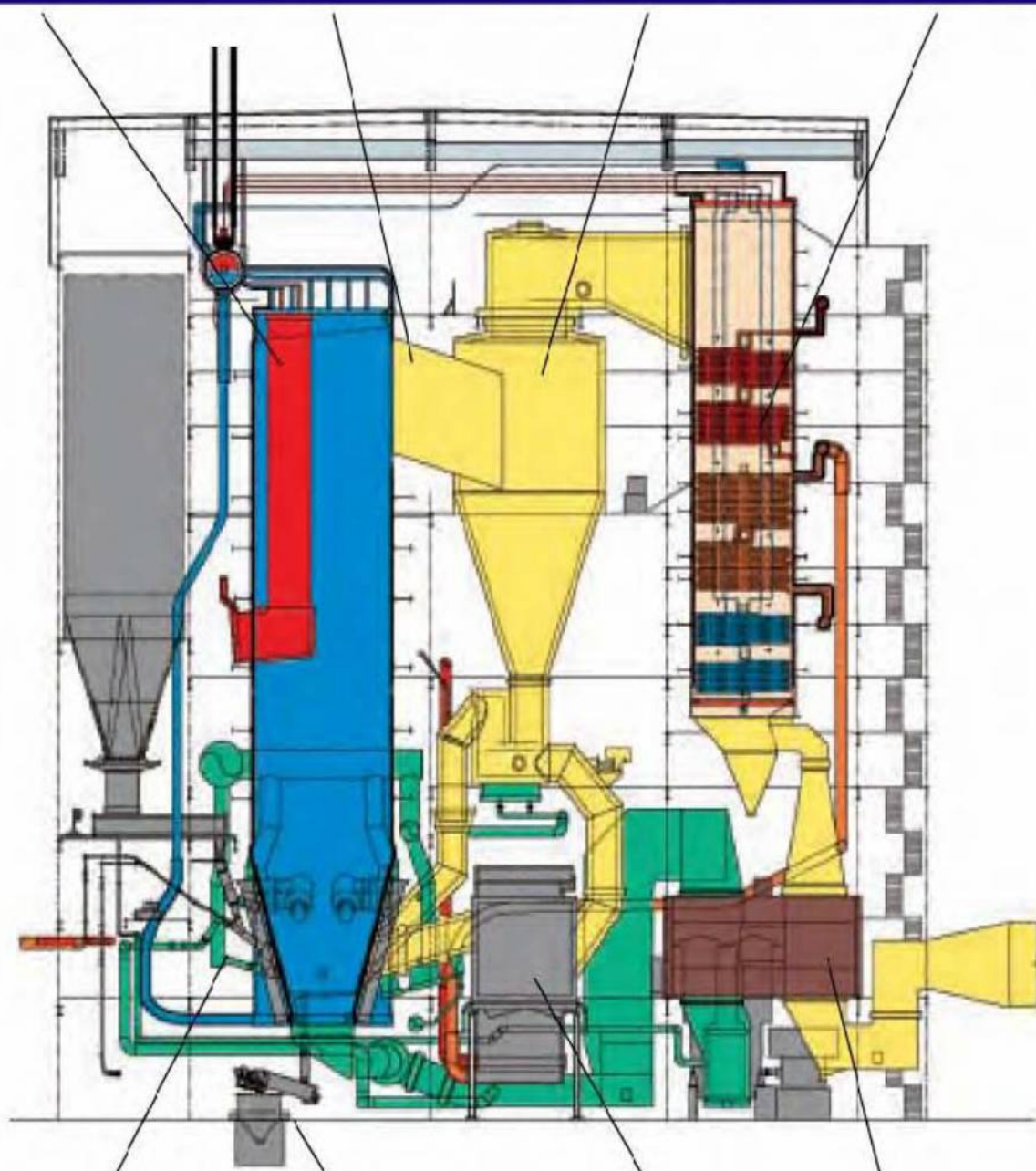
150MW × 4 基石炭火力発電所完成予想図

*In-furnace  
Heating Surface*

*Enhanced Refractory  
System*

*High-efficiency  
Cyclone Design*

*Steam-cooled  
Backpass Enclosure*



低質炭でも燃焼できる循環流動床ボイラ

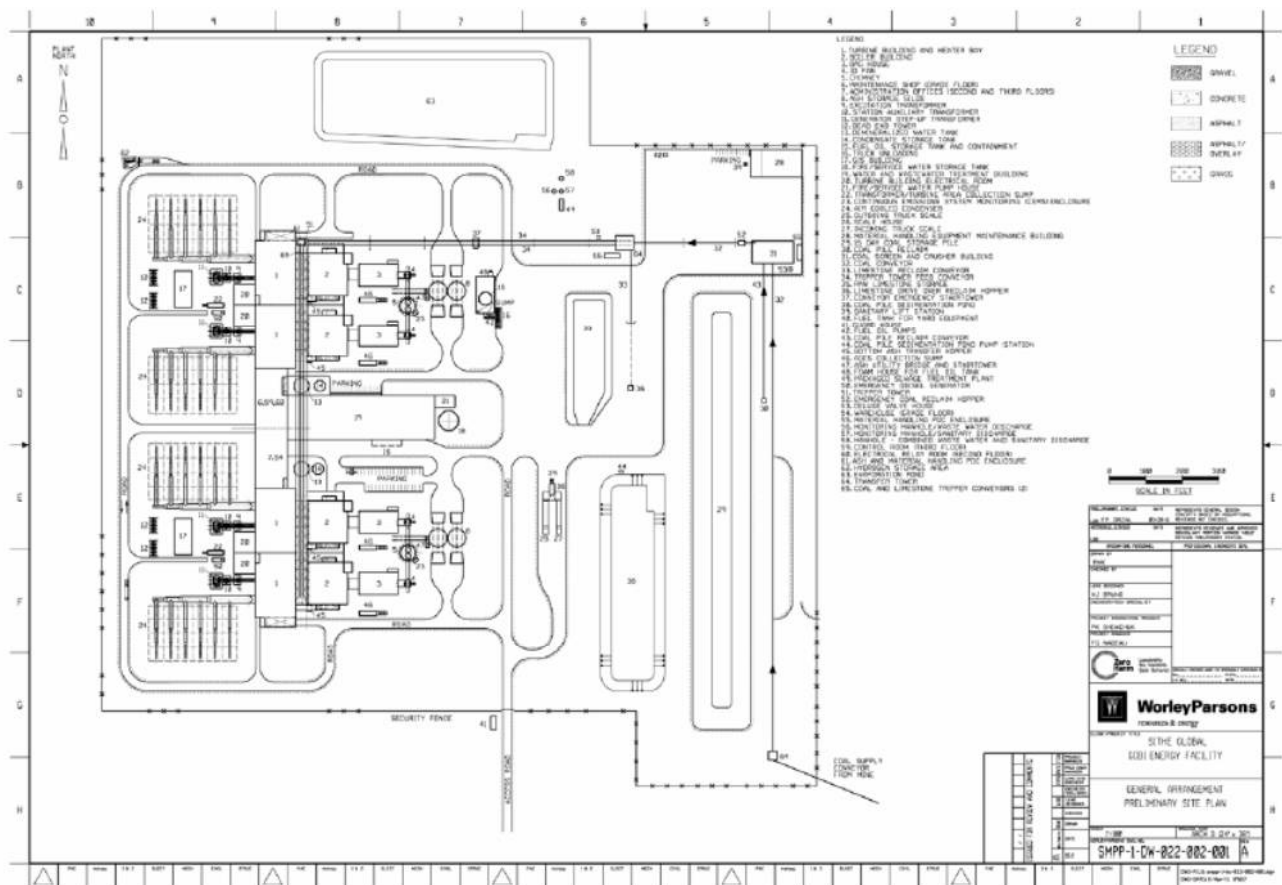


Figure 9- Power Facility Site Plan

## 機器配置図